

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(地域づくり活動推進員)
にしちみちひろ
西地 道弘

Q 協力隊の任期も半分を過ぎました。最近のお仕事はありますか？

A 地域活動支援センターの方に手伝っていただき、障がい者などが農業分野で活躍することを通じて社会に参画する機会を作る「農福連携」の取組を行っています。また、町でシニア層をターゲットにしたeスポーツ(*)体験が行われましたが、障がい者の方々を対象にも体験できるのではないかとと思うので、今後その面でも関わっていければと考えています。そのほか、これまでに引き続き重層的な支援や地域福祉計画のサポートなどを行っています。毎月第1・第3火曜日に役場本庁で行う「喫茶さとう木」のドリンクの容器をプラスチックから紙に変えたりといったSDGsの取組も進めています。多くの住民の皆さんにSDGsに関心を持っていただけるよう、さとう木のメンバーが県独自のSDGsバッジを身に付けて活動できればと思っています。

*eスポーツとは、Electronic Sports(エレクトロニック・スポーツ)の略。コンピューターゲーム、ビデオゲームなどを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

Q プライベートで最近変わったことはありましたか？

A 6月8日(土)に実施した映画上映・交流会は印象に残っています。いろいろな方が応援してくれてありがたかったし、背中を押されたような気持ちになり、みんなで協力しながら町を盛り上げていきたいという思いが強くなりました。また、昨年、畑を借りて初めて育てた赤ラッキョウが春に無事出荷できたことも嬉しかったです。今後は農業DXも取り入れて、少しでも楽に作業できるようになれば良いと思います。



協力隊から一言！

今年もラッキョウを頑張って育てます。ラッキョウはいろいろな食べ方があるので、皆さんもぜひ食べてみてください！

Kramer's Corner クレームのコーナー



今月のテーマ カツオマイスター

令和6年度のカツオマイスター育成プログラムが7月に始まりました。このプログラムで4カ月をかけて佐賀中学校の3年生の13名が丸ごと1本のカツオを美味しいわら焼きタタキにする技術を学びます。7月10日に僕は黒潮一番館に最初の実技講習を手伝いに行きました。生徒たちが初めてカツオを捌くを見て、自分のカツオマイスターの経験を思い出しました。去年は参加者が少なかったので、僕も受講したいか聞かれました。めったに自炊しない僕が少しでも調理のスキルを身につけて地元の伝統料理を体験できる素晴らしい機会だと思って喜んで参加しました。包丁の使い方さえ知らなかった僕がゼロからスタートしてマスターの丁寧な指導の下で少しずつ捌けるようになりました。失敗ももちろんあったが、その一つひとつがよい教訓になって、プログラムを無事に卒業できました。

嬉しいことに今年は参加者が増えて、僕は卒業生としてマスターの手伝いをして生徒たちのカツオマイスターへの道のりを見守ることになりました。町の伝統的な料理技術を受け継ぐのがうれしくて、どれくらい成長するのか楽しみです。料理の才能が全くない僕でもできたので、生徒たちもきっと上手になります。参加者の皆さん、道はまだ長いですが、失敗を恐れずに一步一步進んで立派なカツオマイスターになってください！

今月の使える！英語



プラクティス メイクス パーフェクト
Practice makes perfect!

practiceは「練習」、perfectは「完璧」。「完璧になるには練習しかない」という意味です。日本語の「練習あるのみ」や「継続は力なり」ということわざに似ています。

